

Good News

西部所 第61号

西 ～にし～

■南大沢学園「自己有用感を高める学び」(特別支援教育・募集対策)

本校ロジスティクスコース物流部3年生の生徒が、令和7年度第45回全国アビリンピック製品パッキング部門の競技に参加しました。製品パッキングとは、製品を輸送、保管するために緩衝材や箱を使って適切に梱包する作業です。化粧箱や中箱、緩衝材の組み立て、商品のセットアップ梱包作業をしました。

代表に選出された生徒は、ロジスティクスコースの授業で、練習を積み、組み立て方を覚えた後は、より効率的に製品を組み立てるため、物や道具を置く位置や向き、手順などを考えました。動画を見て他の選手の良い点を学び、生徒自身が考えた改善点を取り入れ、何度も挑戦しました。時間内に製品を完成させられた際は、生徒、教員共々達成感を共有できました。大会前日には、競技会場視察、競技の説明、資材の確認をして、心の準備を行い、本番当日は、練習より早い時間で箱を作り上げることができ、半年間コツコツと練習した成果を発揮しました。審査の競技役員より「第2課題は商品がお客様の手元に届いてどう思われるかを考えて、破損や汚れが無いかが評価の対象となる」と講評があり、生徒の心に深く刻まれた様子でした。今回、全国アビリンピック大会に参加したこと、学校に戻り製品パッキングの実演をしたことで、生徒は達成感を感じ、集中力や自己有用感が高まった貴重な体験となりました。

本校では、1年次はトライアル実習として、ビルクリーニング、エコロジーサービス、ロジスティクス、食品、福祉の5つのコースを体験し、2・3年次からコースに分かれより専門的な学習を展開します。今後も、生徒一人一人の人権を尊重し、障害の状態や特性等に応じた専門的な教育を推進するとともに、個性を伸長し、豊かな人間性や社会性を育み、自立し社会参加できる生徒を育成していきます。

(教諭・日下部 穎子、主任教諭・小森 静代)



大会当日の様子

